

たつやの日記

「東日本大震災・被災者救援と支援」と府会選挙

「被災者救援と支援」「災害に強い町づくり」「原子力行政の転換」が問われた府会議員選挙でした。市議会が終った翌日25日に、福島から避難してこられた被災者の支援に関わっただけに、府議選挙の争点は身近でした。「斉藤候補は困っている人に心を寄せることができる人」と訴えましたが、「出遅れ」が影響しました。「捲土重来」頑張りますので今後ともご支援をよろしくお願いします。



『和と輪』が広がりますように

明知町自治会総会で明知町自治会の総会が16日に開催されました。今年は、会長改選の年でした。



引き続き、自治会長をお受けすることになりました。町内の「和」と「輪」が広がるようにと思っています。自治会長って、色々な仕事結構あるものですが、役員

の皆さんのご協力でなんとかこなしています。

引き続き震災救援募金活動にとりくみます

多くの所で募金活動が行われています。日本共産党にも大勢の方々からご協力をいただきありがとうございます。京都の日本共産党には約7万人の方から3,300万円(4/13現)の温かい支援が寄せられました。復興には長い年月がかかるでしょうが、引き続き救援募金をとります。ご協力をおねがいします。

市議員35年 堀口達也
あんなこと... こんなこと...



原子力発電所「安全神話」 そのものの原子力防災計画

部落解放同盟やゆがんだ同和行政について(続)と書いてきましたが、東北関東大震災での原子力発電所事故問題が大きくなっています。20年も前の議会で原子力発電所問題と原子力防災計画についてこんなことがありました。

原子力発電所の安全性について啓発

このタイトルをご覧になった方は、「あー関西電力が啓発するのか」と思われます。ところが綾部市「第3次総合計画・中期基本計画(1992~1997)」の中では、関西電力(株)との安全協定に基づいて市は、「...施設の安性について啓発活動を...」と書いてありました。「なんで綾部市がそんなことをするのか」と追及すると、「原発は安全だと国・府、電力会社が言っています」との答弁。あきれかえったことがありました。

20年前は、本当に「原発安全」との「神話」に満ちあふれていました。

原発防災計画の風向きが間違っているのでは

「原子力防災計画」を読んでいてどう考えてもわからないことがありました。10*¹⁰の災害を想定しているのですが、風向きは、上林から高浜方面になっていました。「この計画では、飛散した放射能は綾部でなく日本海になるが」と質問すると、担当者があわてました。実は逆だったのです。「原発は安全」と思い込むとチェック機能もなくなるのです。安心・安全な町をめざします。

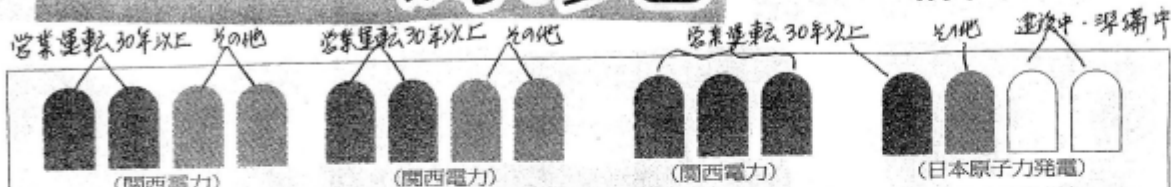


日本共産党綾部市議員 堀口達也 後援会ニュース

綾部市宮代町明知 電話 42-7754 内部
2011年4月 Fax 42-7896 資料

どうする？ 原発

日本に原発54基
計画14基



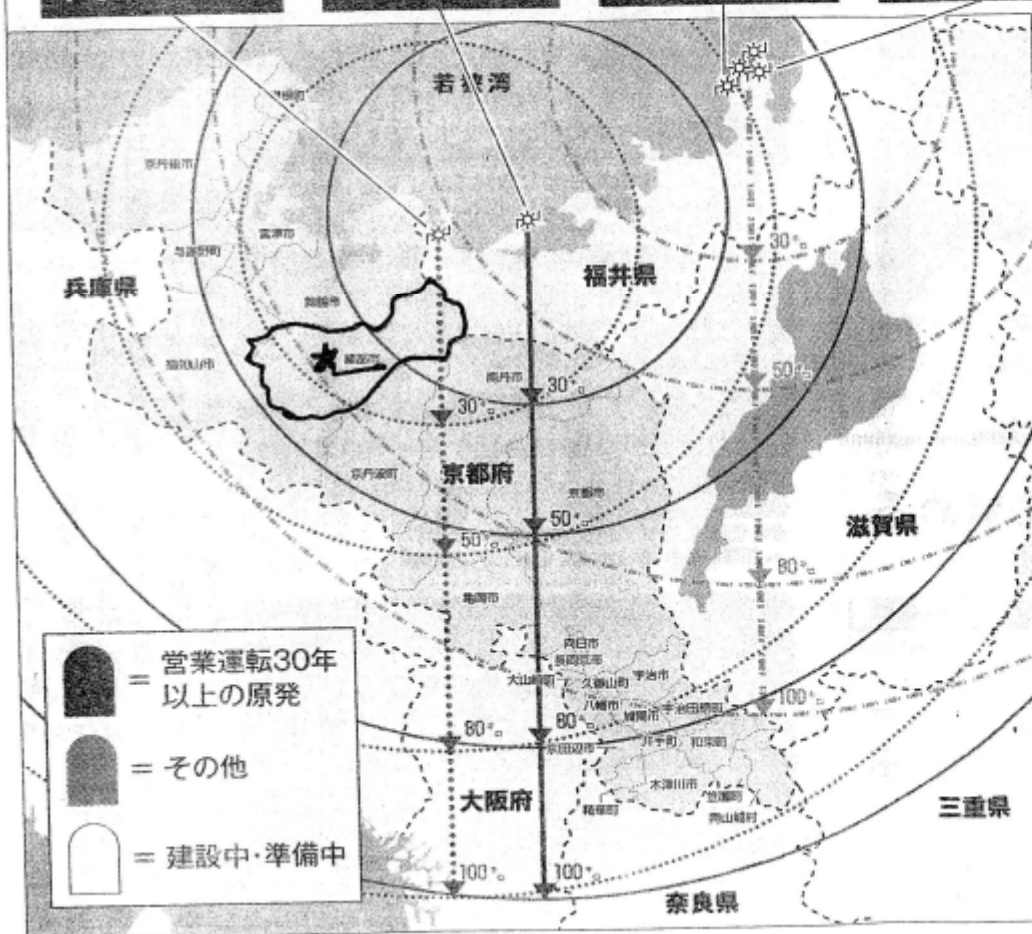
高浜原発

大飯原発

美浜原発

敦賀原発

原発から綾部市役所まで34キロ



- = 営業運転30年以上の原発
- = その他
- = 建設中・準備中

若狭湾の原子力発電所と距離

福祉・防災の街づくりを

「事故は想定外ではない！」

共産党吉井議員2005年から危険性を警告

一斉地方選挙真っ最中です。

共産党は「原発見直し」を争点に「安全神話」から抜け出すことを呼びかけています。

共産党吉井英勝衆院議員は2005年以来地震や津波で原発への電源供給が失われる事で「炉心溶融」が起きる危険性を国会で警告してきました。しかし政府は対策を打ってきませんでした。事故は「想定外」ではないのです。

震災復興には莫大なお金が必要

財源はどうするのか！

共産党はこう考えます

米軍への思いやり予算 3200 億円

政党助成金 320 億円を

すぐに止める！

消費税増税などもっての外です。

☆被災者救援募金へのご協力ありがとうございました！

現在全国で5億円を超える募金が集まり

3億4千万円を被災地に届けました。

